



主のご復活(イースター)を祝う前に

聖週間・聖なる三日間の礼拝のご案内

教会では私たちの罪のために十字架にかかって死なれたイエス・キリストが、三日後によみがえられたことを復活祭(イースター)として盛大に祝ってきました。また、枝の主日(日曜日)と呼ばれる、イエス様がエルサレムの街に迎えられた日からはじまる復活祭の前の一週間を受難と死を記念する「聖週間(または受難週)」としておぼえてきました。特にイエス様が死を「過ぎ越し」て、新しい命にうつられた聖週間の最後の3日間を記念する「聖なる三日間」を大切にしてきました。

教会はすべての人に開かれています。どうぞご自由にお出かけください。歓迎いたします。ご不明な点などございましたら、下記の聖マーガレット教会までお気軽にお問合せください。

日本聖公会 聖マーガレット教会
牧師・司祭 バルナバ前田良彦



日本聖公会 **聖マーガレット教会**

東京都杉並区松庵1-12-29 電話:03-3334-2812

枝の主日(復活前主日) 聖餐式・説教 午前11:00~

イエス様、エルサレムへ

イエス様がロバに跨り、エルサレムに入城したことを記念する礼拝です。エルサレムに来たイエス様を、群衆がナツメヤシの枝を手に持ち「ホサナ。主の名によって来られる方に、祝福があるように、イスラエルの王に。」(ヨハネ12:13、)迎えました。私たちの教会でも、棕櫚の枝を持ちながら、聖堂へと行進します。また福音書は、伝統によって配役を定めて朗読され、礼拝にいらした皆さんに棕櫚の十字架をお配りいたします。

枝の主日
4月13日(日)



聖金曜日
4月18日(金)



聖金曜日(受苦日) 受苦日礼拝 昼12:00~

イエス様、十字架で死なれる

イエス様は私たち人間の罪をあがなうために、自ら進んで十字架にかかれ、その命をささげられました。教会では昼の12時から聖書のみ言葉を聞き、礼拝をお奉げして、イエス様の尊い犠牲を記念します。

聖アンデレ教会(東京都港区芝公園3-6-18 電話:03-3431-2822)では昼の12時から3時まで東京教区の受苦日礼拝が行われます。

司式:卓 志雄司祭 説教:ウィリアム・ブルソン司祭 通訳:植松 功さん

聖木曜日 主の晩餐の聖餐式・説教・洗足式 午後7:00~

最後の晩餐。弟子たちを招かれ、足を洗う

主の食卓をみんなで囲む聖餐式(ミサ)です。イエス様が十字架にかかれる前夜に、賛美の祈りののちパンと葡萄酒をそれぞれ「自分の体」「自分の血」として弟子たちに与え、「わたしの記念としてこのように行いなさい」(ルカ22:19)と命じられ、教会は2000年以上にわたって、これを守ってきました。また、イエス様が弟子たちの足を洗われたことに倣って、私たちの教会でも互いに足を洗い合います。



聖木曜日
4月17日(木)



聖土曜日
4月19日(土)

聖土曜日 夕の礼拝・復活のろうそくの祝福・洗礼の約束の更新 午後6:00~

イエス様のご復活を待ちのぞむ

4世紀ごろから始まった「復活徹夜祭」と呼ばれる礼拝の一部です。主が死からいのちへお移りになった聖なる夜に洗礼式が行われ、人々は新しい信者と共に喜びの食卓に招かれました。私たちの教会では、この徹夜祭の中から、復活のろうそくの祝福の部分に夕の礼拝・洗礼の約束の更新を加えた礼拝をささげます。闇から光へと導かれる喜びの礼拝をささげ、ご復活の主の食卓に集う準備をします。